

NHK 大河ドラマ「大友宗麟」誘致推進協議会 令和4年度主な活動項目

新型コロナ感染状況が全国的に高止まりの傾向にありますが、社会全体が「ウィズコロナ」の方針で経済活動を行っている中、当推進協議会も感染防止対策を十分とりながら活動しております。10月11日には令和4年度のメイン行事が目白押しです。以下に今後の予定をお知らせしますのでできる限りご参加をお願いいたします。

■エッセー応募作品選考作業／9月上旬に締め切り35作品の応募があった。現在当推進協の役員並びに大分県・大分市・大分合同新聞社で選考作業を進めている。11月5日(土)開催の「大友氏顕彰フォーラム in 大分」で発表するほか、フォーラム開催前に大分合同新聞紙上でも発表する予定。全作品は、来年秋発行の『大友氏の風景(11)』に掲載する。

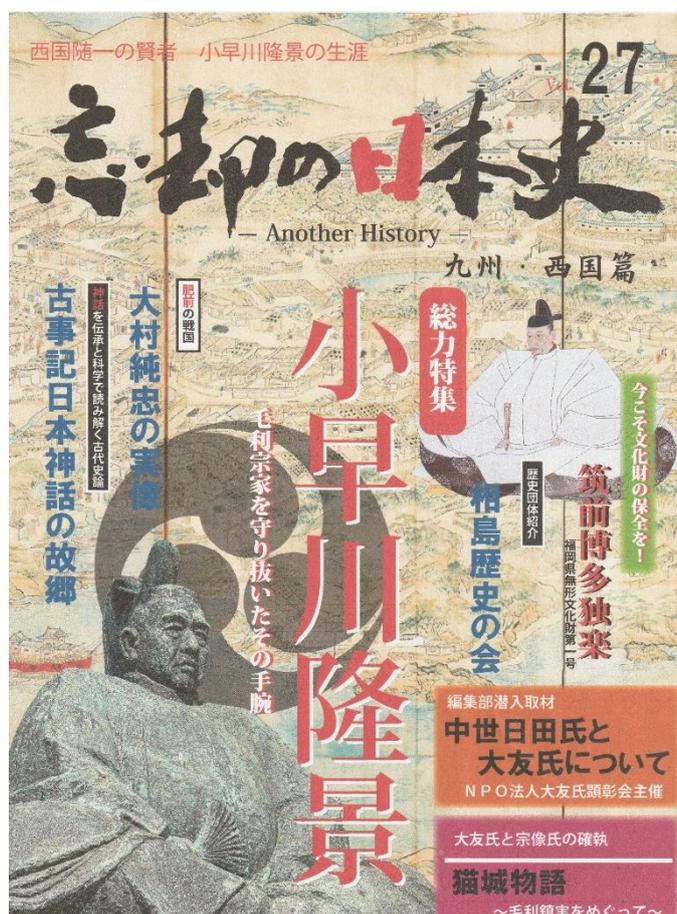
■大都市圏の大分県(市)人会参加／下期から新年に向け、首都圏・中京・関西・福岡の大分県人会が開催される。従来も参加しPRに努めてきたが、今年度から在京県人会、神奈川大分県人会に入会し、会長のみならず副会長・事務局長など複数参加する予定である。

■宗麟公まつり／10月29日(土)・30日(日)開催。同封資料を参照。大河ドラマ推進協と顕彰会会員並びに大学生有志による寸劇「富士の巻狩り」を演じる。また、大友氏顕彰会と推進協のブースで出版物の販売をする。

●九州・山口地域の歴史雑誌『忘却の日本史』に3月開催した「フォーラム in 日田」の雑誌社の潜入レポートを掲載した(10月上旬発売、有名書店で販売)。数十冊を購入し、価格の2割を推進協の活動費に充てる。

■宗麟公まつり前夜祭「赤神諒を囲む懇親会」／10月28日(金)夜。9月23日大分合同新聞の連続小説「闇GIN」が始まった。挿絵に緑が丘高校美術科生に依頼する等話題を呼んでいる。赤神諒氏の想いを取材し、後日会員各位に伝える予定。

■大友氏顕彰フォーラム in 大分／11月5日(土)・大分市コンパルホール3階多目的ホール。別紙参照。今年は大友能直公生誕850年、頼泰公生誕800年の節目に当たり、折よくNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が好評放送中である。同封のチラシのような内容で長時間にわたり開催する。今回は特に柳川市と新宮町の代表を招き大河ドラマ化への連携を探る。コロナ禍により入場制限はあるが上限いっぱい参加を期待している。



■道雪公まつり参加／11月6日(日)。昨年から福岡県新宮町の道雪会との交流を始めた。今年は牧会長が大分で開催の演劇を優先させるため、事務局の若杉・藤田・大塚の3名が参加する予定である。なお、道雪会と大友宗麟鉄砲隊とは以前から交流があり、「宗麟公まつり」には道雪会から10人以上、「道雪公まつり」には鉄砲隊から10人以上が参加、我々と共に交流を深める。

■今後のNHKへの要望／従来、当会と行政(大分県知事・市長・議会議員)での陳情だったが、これからは学者、作家、首都圏や各地の県(市)人会など幅広い連携で熱意を伝えたい。NHKは地元の広範(全県民)な熱意を最重要視しているため。※大友氏に関する歴史的価値は十分に伝えてきた。あとは地元の熱意と全国的な知名度の周知の方策である。

■小田原・鎌倉研修旅行・11月20・21・22日／大友氏のふるさと小田原市と鎌倉市の
大友氏誕生の地を訪ねる。参加15人。今年は前述したようにタイミングとして申し分ない年である。この旅行記は、来年秋発行の『大友氏の風景(11)』に掲載する。

令和4年10月6日

会 長 牧 達夫
事務局長 若杉 孝宏